

迎春

平成17年



井戸尻考古館 大賀ハス



富士見町議会議長

植松米作

平成17年の年頭に当り、町民の皆さんに謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、三位一体の改革等厳しい行財政改革の進む中、町民福祉向上のために、格段のお力添えを頂き、心から厚く感謝申し上げます。

今年は、富士見町が発足して50周年を迎えます。この機会に、温故知新、町民と協働してまちづくりを進めます。

阪神淡路大震災に遭った震源地の北淡町長小久保正雄氏の著書に、「若い頃には煩わしく思えたこともあった田舎特有の濃い近所付き合いの生活ぶりも、この大震災に当っては、その良さが100%出た」とあった。

私達は、これから、この富士見町の田舎の集落を、住民自治の原点として、この町に遊び、学び、育む人づくりを柱に、この町にある資源を使って産業と文化を創造することです。

議会は分権社会自律の実現のために、町民と同じ目線で考え、ホームページ等で住民情報を提供し、活性化した議会活動を進めます。

希望に満ちた明るい富士見町の将来に向けて町民皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

12月定例会

下水道料金の改定

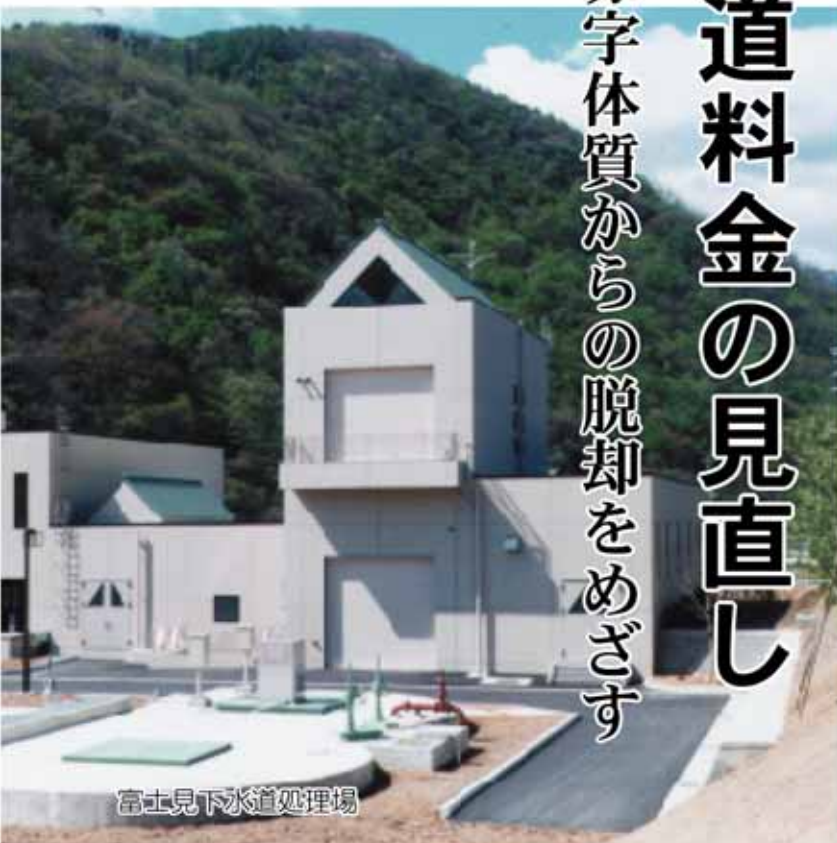
12月定例会は、12月10日から21日までの12日間の会期で開催されました。

町から提出された議案は、条例9件、議決案件6件、予算補正5件、人事案件1件の、21議案。いずれの議案も慎重審議を行い、すべて原案どおり可決・同意しました。

今定例会では、下水道料金の改定、「公の施設」を民間事業者の活力を活用し、行政の効率化を図る「指定管理者制度」の導入、清泉荘ディサービスセンター建設に伴う財産の取得（特殊浴槽・リフト付送迎車）などが主な提出議案であり、集中的な審議を行いました。

下水道料金の見直し

赤字体質からの脱却をめざす



富士見下水道処理場